

## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

家庭・地域・学校協議会		
地域代表(5)	家庭代表(2)	学校代表(5)
自治会長	PTA 会長	校長
公民館長	PTA 副会長	教頭
同窓会長		教務
体育振興会長		各学年主任
民生児童委員協議会会長		
地域コーディネーター(3)		
美山公民館長		
美山中学校同窓会会長		
前美山中学校 PTA 会長		

### (2) 協議会の内容

※開催回数	3回
※開催日程	第1回 7月 1日(月) 第2回 9月 1日(日) 第3回 2月14日(金)
※協議内容	・教育活動全般について ・学校評価について ・中学校区教育について

### (3) 協議会における成果と課題

協議会は、生徒たちの活動の様子を見ていただく機会を捉えて開催した。特に、文化祭で実施した地域の方々とのグループ討議や、第3回協議会で実施した3学年の防災対策案提案会は今年度初めて取り組んだ内容であり、中学生が地域のことを真剣に考えている姿に感動し、ひとつでも生徒たちが提案するものを実現させてやりたいとの好意的な意見をいただいた。しかし、協議会委員以外の参加者は少なく、実際に生徒たちが考える活動を進めていくためには、それを支える地域の協力態勢をさらに広げていく必要がある。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

地域のよさを学び、ふるさと活性化のため自分たちに何ができるかを考え、活動することで、地域への誇りと愛着を深め、ふるさと美山を担う生徒を育成する。

### (2) 活動の実際

#### ①美山を学び、美山の魅力を発信する(1年生)

ふるさと美山に存在する歴史遺産や受け継がれている文化・産業を学ぶ中で、地元美山に大きく貢献し、さらに全国に躍進する企業が数多くあることを知った。その中で、前田建設工業の創業者で旧美山町出身の前田又兵衛氏及び現在の前田建設工業の取組を中心に学習を進め、前田記念館や新幹線建設工事現場を訪問した。そして、生徒が美山の未来を考え美山の魅力を発信するために、これから自分たちに何ができるかその手がかりをようやく掴みつつある。



#### ②美山産の資源を使つての商品開発、そして販売活動に繋ぐ(2年生)

1年次の取組を元に、美山産の農産物に絞って商品開発に取り組ん

だ。まず、プロモーション・メーカーから商品開発・販売のノウハウを学び、それから実際に美山産食材を使った商品を製造・販売している方々をお呼びして、自分たちの構想を発表し、アドバイスをいただいた。それらを生かしてより良い商品を開発し、いよいよ来年度は修学旅行での販売活動となる予定である。

### ③福井・美山への旅行プランの立案し、発表する(3年生)

2年間総合的な学習の時間を中心に取り組んできた『美山を発信、みやまにおいでや〜』に基づき、生徒が独自に福井・美山への旅行プランを立案し、修学旅行で訪問した旅行会社のスタッフにそのプランをプレゼン発表した。いただいたアドバイスを元に更に練り直し、成果をまとめて文化祭で地域の方々に発表した。



### (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・地域の方々との調整役
- ・活動場所の手配や連絡調整
- ・講師、ボランティア委員の手配
- ・生徒の活動に対する助言

### (4) 特に工夫した事項

- ・ふるさと学習や商品開発のヒントを得るための地域の講師を、地域コーディネーターに紹介していただき、連携をお願いした。
- ・ふるさと美山に自信と誇りをもち、美山のために自分たちの手で作り上げていることを強く意識させ、生徒の発想を第一に学習を進めた。

### (5) 成果と課題

自分たちが住む美山地区のよさを再確認し、ふるさとへの愛着と担い手としての自覚を深めることができた。しかし、これからも続くと予想される児童生徒の減少に伴い小中学校の統廃合まで危惧される中、地域の方々の生徒たちに対する期待は更に大きくなる一方で、新たな活動を始めることでの生徒への負担がより大きくなるのが心配される。